

5GHz帯市場動向（11ac 製品化動向）

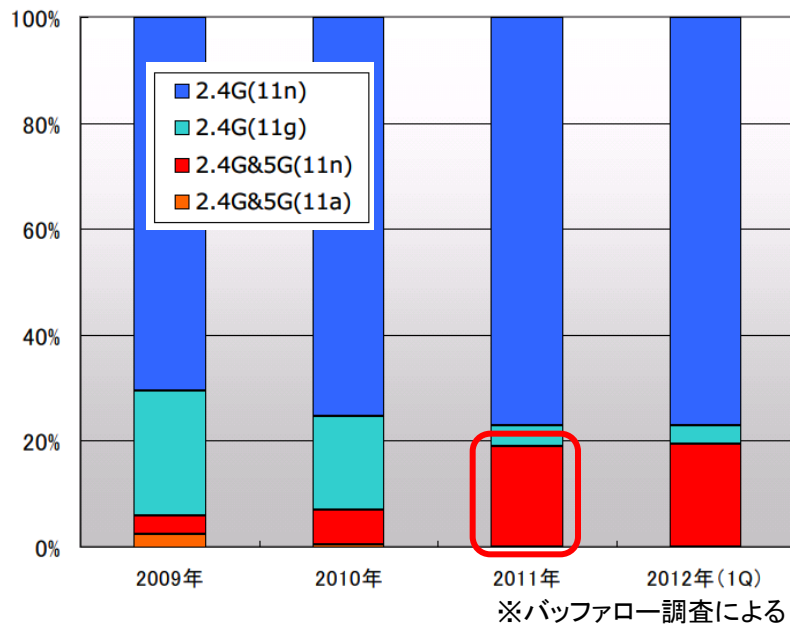
2012年5月31日

MMAC 802.11WG

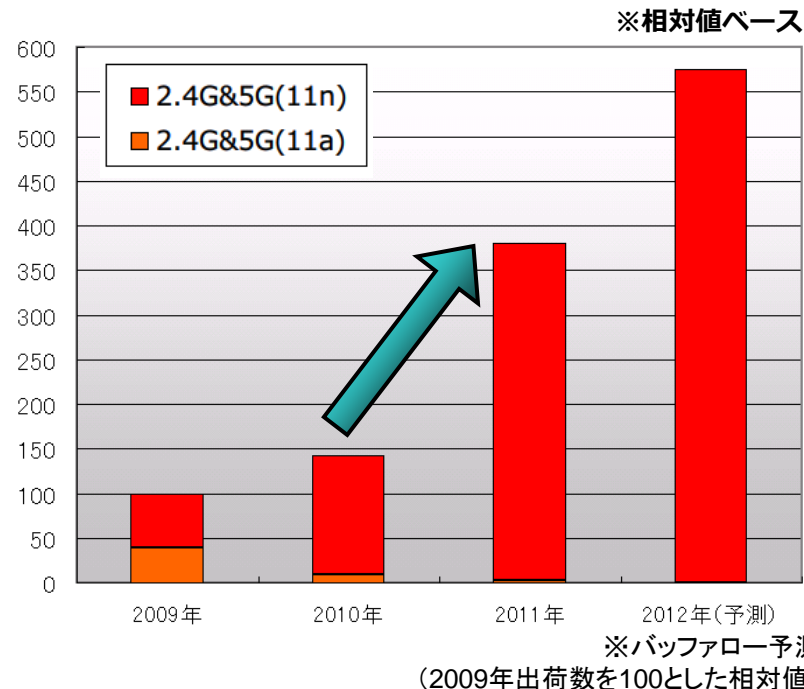
松浦 長洋（バッファロー）

5GHz帯無線ルーターの市場

■無線LAN親機 接続規格別比率(販売台数)



■5GHz帯搭載 無線LAN親機出荷台数推移



日本市場における5GHz帯対応無線ルーター市場は、2011年に急増。

出荷台数増加に伴い、5GHz帯対応製品の国内市場シェアは20%程度まで伸張。

US市場においても5GHz帯対応製品が急速に普及しており、2011年シェア約37%と大幅伸張。

※バッファロー推計

<急速な普及の要因>

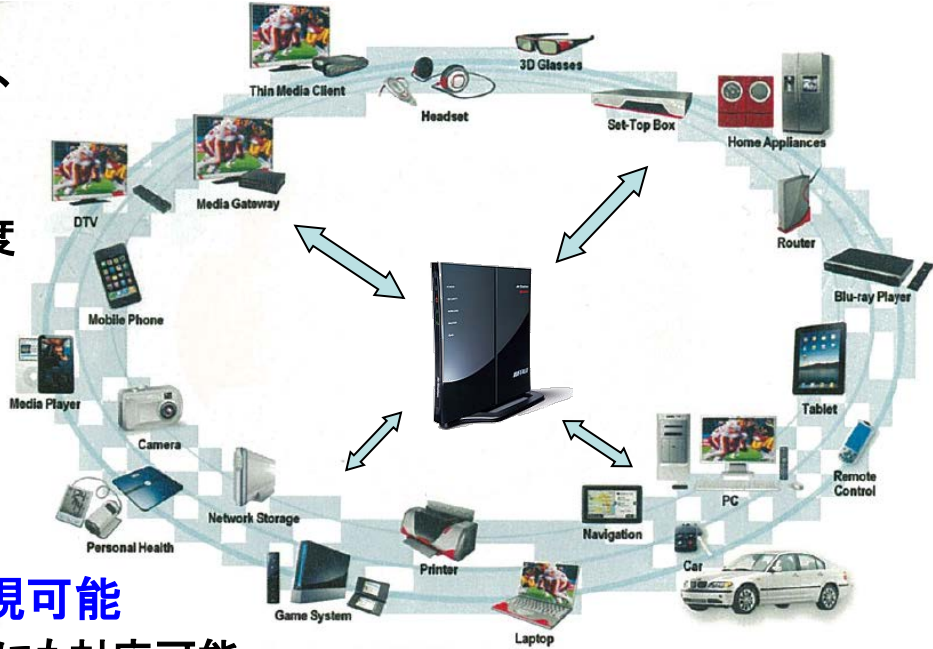
- ・2010年後半頃から大幅な価格低下が実現、手頃な価格帯に(2万円台から1万円台前半に)
- ・映像コンテンツの本格普及と、テレビ・BDレコーダーの無線LAN対応
- ・ネットの動画コンテンツの広がりによる高速化・安定化要求(米国はNetflix等の普及でニーズが強い)
- ・無線LANを利用するタブレット・スマートフォンの5GHz帯対応始まる

次世代無線LAN「11ac」に対するユーザーニーズ

◎'13~'14にかけて、家庭内のWi-Fiデバイスがさらに増加

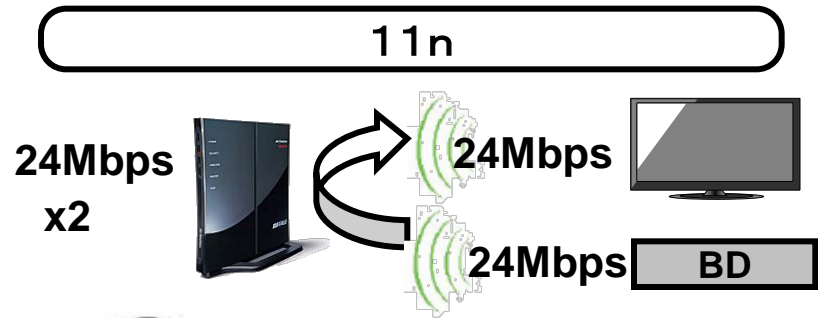
現在のPC/スマホ/ゲーム機/タブレット端末に加え、TV/レコーダ/デジカメ/車/白物家電/電灯など様々な機器に無線LANを搭載へ。
無線LAN親機がトータルで取り扱うデータ量、頻度も増加し、11nでは帯域不足を予測。

デバイスの普及前に、十分に余裕のある宅内インフラの準備が必須。

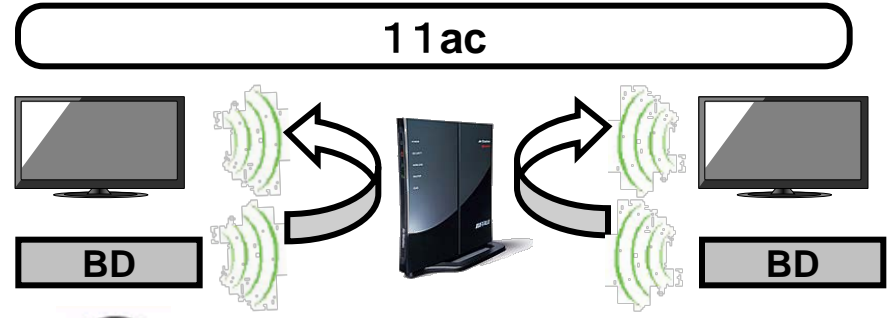


◎ハイビジョンコンテンツの複数同時送信を実現可能

⇒ 将来の4Kテレビ(ビットレート100~150Mbps)にも対応可能



☹️ ハイビジョン1本の送信が限界？



😊 複数のHD4Kの同時送信が可能に

米国市場における11ac 対応製品

◎ 11ac対応チップの動向

大手チップセットメーカー

	Braodcom	Qualcomm Atheros	MediaTek (Ralink)
発表	2012年1月 (CES)	2012年2月	2012年1月
量産時期	Now	—	2012年2月
MIMO	3×3	3×3	2×2

新たなチップセットメーカー

	Quantenna Communication	Redpine Signals
発表	2011年11月	2011年12月
量産時期	2012年Q2	2013年Q1
MIMO	4×4	3×3

※ Web 上の公開情報による

◎ 米国市場における11ac製品の動向

IEEE 802.11ac 対応無線ルーターやノートPC、テレビは**2012年後半**
スマートフォンやタブレットPCは**2012年第4四半期～2013年第1四半期**
に製品化される見通し

- ・2012年 1月 CES デモ展示
- ・2012年 4月 NetGear 5月からの製品出荷を発表
- ・2012年 5月 Buffalo 対応製品販売開始



Buffalo
AirStation™ AC1300 / N900
Gigabit Dual Band Wireless Router
WZR-D1800H



Buffalo
AirStation™ AC1300 / N450
Gigabit Dual Band Wireless Ethernet Bridge
WLI-H4-D1300



NETGEAR
R6300 WiFi Router
\$199.99 / May 2012



NETGEAR
A6200 WiFi adapter
\$69.99 / Q3 2012

米国市場の反応と今後の市場予測

◎ 11ac 製品に関する米国ニュースメディアの反応

40件近い記事の公開を確認。全体的に好評で、新しい規格に期待している事が伝わってきます。

- ・11acはまだWiFiスタンダードになっていないが、それほど時間が掛からず正式化されるだろう。
(複数メディア)
- ・11acの端末自体は来年にかけて普及するので、それに備えた11nのアップグレード用途として使える。
(Ars Technica)
- ・11nよりも映像転送やIPTVに適している。通信距離も伸ばせる150～200フィート⇒250～300フィート。
(PC Magazine)
- ・今後11acの市場が拡大していくだろう。11acの登場により11n自体のマーケットも拡大する。
(Dailywireless.org)
- ・冷蔵庫や電子レンジがインターネットに接続し始めると、ますますキャパが高いRouterが必要になる。
(WebProNews)

今後の無線LAN市場予測

2.4GHz帯無線LANは過去の機器を接続するためのレガシーな位置づけにシフトし、無線LANの主流は親機、接続端末ともに11ac対応（5GHz帯）へ移行することが予測されます。

⇒ 11acの規格標準化と製品化が順調に進捗した場合、
対応製品シェアは2013年に急増し、2014年には11nを逆転すると予測されています。